動物実験に関する自己点検・評価報告書

東京医科大学

点検・評価実施時期：2026 年８月

（点検・評価対象期間：2025 年度）

Ⅰ．規程及び体制等の整備状況

１．機関内規程

１）評価結果 ■　基本指針に適合する機関内規程を定めている。 □　機関内規程を定めているが、一部に改善すべき点がある。 □　機関内規程を定めていない。
２）自己点検の対象とした資料 東京医科大学動物実験規程
３）評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。） 環境省の「実験動物の飼養及び保管並びに苦痛の軽減に関する基準」（以下「飼養保管基準」という。）と文部科学省の「研究機関等における動物実験等の実施に関する基本指針」（以下「基本指針」という。）に則って、東京医科大学動物実験規程が定められている。
４）改善の方針、達成予定時期 該当しない。

２．動物実験委員会

１）評価結果 ■　基本指針に適合する動物実験委員会を設置している。 □　動物実験委員会を設置しているが、一部に改善すべき点がある。 □　動物実験委員会を設置していない。
２）自己点検の対象とした資料 東京医科大学動物実験規程、東京医科大学動物実験委員会規程（改正予定）、 東京医科大学動物実験倫理委員会規程（廃止予定）
３）評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。） 飼養保管基準及び基本指針に適合した委員会として、動物実験委員会及び動物実験倫理委員会が置かれていたが、両委員会を統合することで関係をより明確にした。
４）改善の方針、達成予定時期 該当しない。

３．動物実験の実施体制

１）評価結果 ■　基本指針に適合し、動物実験の実施体制を定めている。 □　動物実験の実施体制を定めているが、一部に改善すべき点がある。 □　動物実験の実施体制を定めていない。
２）自己点検の対象とした資料 東京医科大学動物実験規程、東京医科大学動物実験委員会規程（改正予定）、東京医科大学動物実

験倫理委員会規程（廃止予定）、東京医科大学動物実験計画書様式、動物実験実施報告書様式、実験動物飼養保管施設設置承認申請書様式、動物実験室設置承認申請書様式、（実験動物飼養保管施設・動物実験室）廃止届様式
３）評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。） 動物実験の実施に必要な動物実験規程等及び各種申請書様式等が適正に定められている。
４）改善の方針、達成予定時期 該当しない。

４．安全管理に注意を要する動物実験の実施体制

１）評価結果 ■　基本指針に適合し、安全管理に注意を要する動物実験の実施体制を定めている。 □　安全管理に注意を要する動物実験の実施体制を定めているが、一部に改善すべき点がある。 □　安全管理に注意を要する動物実験の実施体制を定めていない。 □　該当する動物実験を行っていないので、実施体制を定めていない。
２）自己点検の対象とした資料 東京医科大学組換え DNA 実験安全管理規程 東京医科大学病原体等安全管理規程 東京医科大学微生物統御動物実験用研究設備安全管理運営規程
３）評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。） 動物実験計画書で安全管理を要する実験区分が示され、対応した規程が整備されている。特殊実験の課題番号記入枠はないが、2024 年度からは指定されたスペースに記入するよう周知している。
４）改善の方針、達成予定時期 該当しない。

５．実験動物の飼養保管の体制

１）評価結果 ■　基本指針と飼養保管基準に適合し、適正な飼養保管の体制である。 □　概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 □　多くの改善すべき問題がある。
２）自己点検の対象とした資料 東京医科大学動物実験規程、実験動物飼養保管施設設置承認申請書、動物実験室設置承認申請書、（実験動物飼養保管施設・動物実験室）廃止届、飼養保管標準作業手順書
３）評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。） 飼養保管施設等の設置と廃止に関する要件が規程に定められており、各種書式等も適正に定められている。また、飼養保管施設には飼養保管標準作業手順書が定められている。
４）改善の方針、達成予定時期

該当しない。

６．その他（動物実験の実施体制において、特記すべき取り組み及びその点検・評価結果）

Ⅱ．実施状況

１．動物実験委員会の活動状況

１）評価結果 ■　基本指針に適合し、適正に機能している。 □　概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 □　多くの改善すべき問題がある。
２）自己点検の対象とした資料 東京医科大学動物実験委員会規程（改正予定）、東京医科大学動物実験倫理委員会規程（廃止予定）、前記委員会議事録、飼養保管施設視察記録
３）評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。） 東京医科大学動物実験規程等に基づいて、学長の諮問機関として委員会を開催し、関連事項に関して審議した。
４）改善の方針、達成予定時期 該当しない。

２．動物実験の実施状況

１）評価結果 ■　基本指針に適合し、適正に動物実験を実施している。 □　概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 □　多くの改善すべき問題がある。
２）自己点検の対象とした資料 動物実験計画書、動物実験実施報告書
３）評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。） 動物実験計画を審査し、学長の承認を得るとともに、動物実験実施報告書により動物実験の実施状況を把握している。前年度の計画すべての動物実験実施報告書（計画書 161 件のうち修正 13 件が含まれるため実施報告書としては 148 件）が提出された。
４）改善の方針、達成予定時期 該当しない。

３．安全管理に注意を要する動物実験の実施状況

１）評価結果 ■　基本指針に適合し、当該実験を適正に実施している。 □　概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 □　多くの改善すべき問題がある。 □　該当する動物実験を行っていない。
２）自己点検の対象とした資料

動物実験計画書、動物実験実施報告書、感染実験室安全運営細則、感染実験室の飼育管理、安全キャビネットの点検記録
３）評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。） 安全管理を要する動物実験に関わる施設・設備は適切に維持されていた。また、事故は発生しておらず安全に実施されている。
４）改善の方針、達成予定時期 該当しない。

４．実験動物の飼養保管状況

１）評価結果 ■　基本指針と飼養保管基準に適合し、適正に実施している。 □　概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 □　多くの改善すべき問題がある。
２）自己点検の対象とした資料 実験動物導入記録、動物集計表、作業日誌、動物観察記録、飼養保管標準作業手順書、実験動物飼養保管状況の自己点検票、微生物モニタリング記録、飼養保管施設視察記録、緊急時対応マニュアル
３）評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。） 実験動物は適切に飼養保管されていた。 飼養保管標準作業手順書及び緊急時対応マニュアルが整備されている。
４）改善の方針、達成予定時期 該当しない。

５．施設等の維持管理の状況

１）評価結果 ■　基本指針と飼養保管基準に適合し、適正に維持管理している。 □　概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 □　多くの改善すべき問題がある。
２）自己点検の対象とした資料 実験動物飼養保管施設設置承認申請書、実験動物飼養保管施設設置についての基準表、実験動物飼養保管施設設置承認通知書、飼養保管施設視察記録、実験動物飼養保管状況の自己点検票、温湿度記録、第一種圧力容器法定点検・自己点検記録
３）評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。） 自己点検及び委員会の視察によって、適正に維持管理されていることが確認できた。施設は老朽化しているものの随時修繕されている。現在の老朽化した施設の代替となる新棟建設計画が進んでいる。

４）改善の方針、達成予定時期 現在の施設を維持しつつ、新規施設の建設が計画されている。

６．教育訓練の実施状況

１）評価結果 ■　基本指針と飼養保管基準に適合し、適正に実施している。 □　概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 □　多くの改善すべき問題がある。
２）自己点検の対象とした資料 動物実験講習の実施記録・受講者一覧、同講習の資料、公私立大学実験動物施設協議会実験動物管理者の教育訓練受講証、公私立大学実験動物施設協議会動物実験委員会の教育訓練受講証、実験動物学会実験動物管理者等研修会受講証
３）評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。） 教育訓練の実施記録等によって基本指針と飼養保管基準に則した教育訓練が実施されていることを確認した。管理者１名が公私立大学実験動物施設協議会主催の実験動物管理者向け教育訓練及び実験動物学会主催の実験動物管理者向け教育訓練を受講した。
４）改善の方針、達成予定時期 該当しない。

７．自己点検・評価、情報公開

１）評価結果 ■　基本指針と飼養保管基準に適合し、適正に実施している。 □　概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 □　多くの改善すべき問題がある。
２）自己点検の対象とした資料 東京医科大学ホームページ
３）評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。） 大学 HP トップページの情報公開欄にリンクを貼ったサイトに、動物実験等に関する情報を掲載し、毎年度更新している。
４）改善の方針、達成予定時期 該当しない。

８．その他

（動物実験の実施状況において、機関特有の点検・評価事項及びその結果）

特になし。